

# 三郷駅周辺江戸川河川敷の活性化方針計画書

<第一次案>

令和4年9月20日

東日本総合計画株式会社



# 目 次

I	目的と内容	1
1.	目的	1
2.	対象エリア	1
3.	検討の内容と組み立て	2
II	計画対象地区の現状	3
1.	広域的な位置づけ	3
2.	計画対象地区の状況	6
1)	土地利用	6
2)	交通アクセス	8
3)	利用状況	10
III	上位・既定関連計画等からみた整備の方向性	12
1.	上位関連計画	12
2.	既定関連計画等	19
3.	上位・既定関連計画等からみた計画対象地区に関する提案メニュー	26
IV	河川空間の活用に向けた課題の総括	27
V	河川敷の利活用の方針	28
1.	河川敷の整備の基本的な考え方	28
1)	狙い	28
2)	コンセプト	28
2.	拠点地区の設定と整備の基本方針	30
1)	拠点地区の設定	30
2)	拠点地区の整備ゾーニング	31
3)	ゾーン別整備内容	32



## 1. 目的

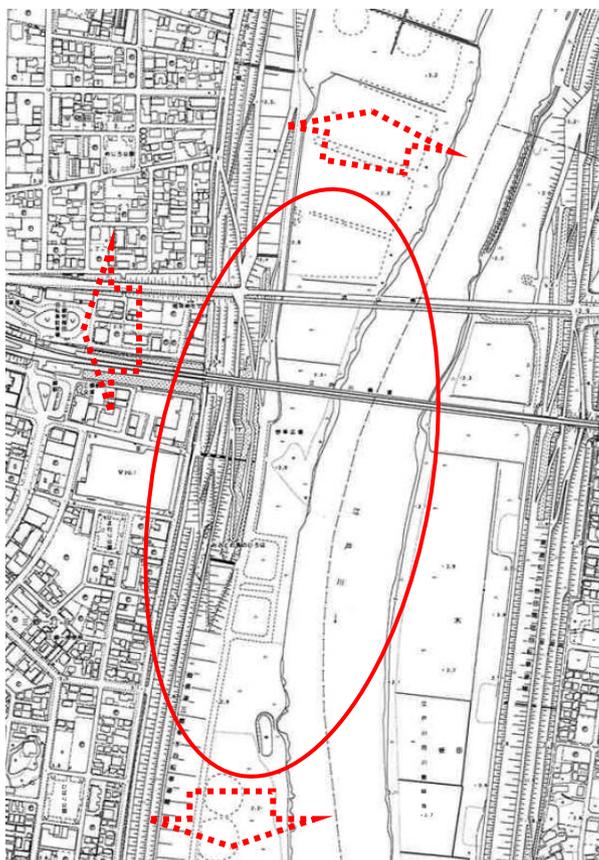
地域の資源である河川（敷）を活用し、河川をにぎわいのある水辺空間として積極的に活用していく動きが全国的に取り組まれている。

国においては「かわまちづくり支援制度」、埼玉県においても「水辺空間とことん活用プロジェクト」や「川の国埼玉活力創出事業」といった政策により、地域の「顔」、そして「誇り」となる水辺空間の形成を目指すこととしている。

本業務の目的は、三郷市の江戸川の活用についてこれまで様々な計画検討や議論がなされてきた経緯や、現在進められている三郷駅周辺のまちづくり計画等も踏まえ、三郷市の観光振興という視点から、実証実験も実施しつつ三郷駅周辺江戸川河川敷の利活用についての考え方及び事業内容を明らかにすることにある。

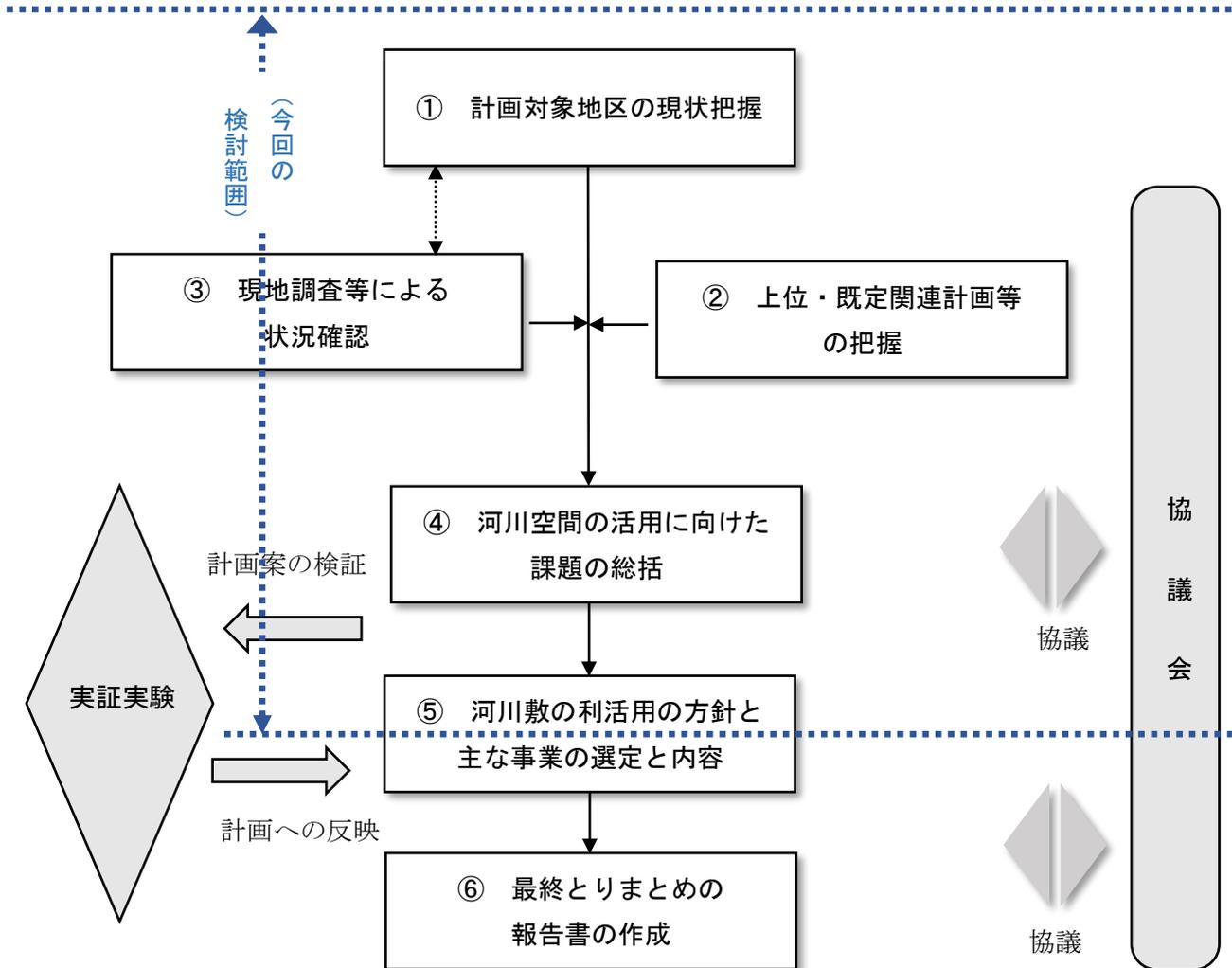
## 2. 対象エリア

検討の主な対象エリアは、下図のとおりとする。なお、計画の内容により、河川敷の周辺地域や、駅及び市街地（まち）との連携等についても適宜検討対象エリアとする。



### 3. 検討の内容と組み立て

検討の大きな流れと組み立ては、以下のように想定する。



## II 計画対象地区の現状

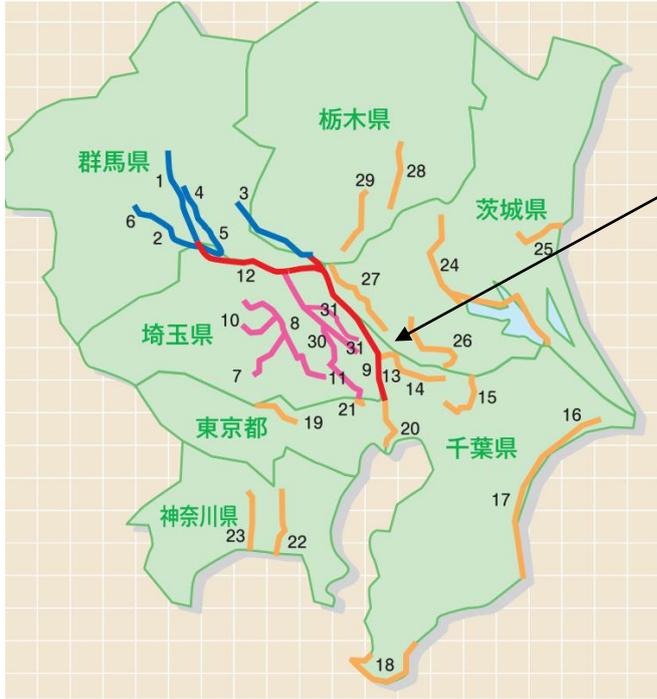
### 1. 広域的な位置づけ

- 計画対象地を中心とした半径 50 km圏内に1都3県の県庁所在都市を有し、観光需要という視点から捉えると、日帰り圏に膨大な市場を有していることになる。
- 東京外環自動車道と常磐自動車道の結節点に近く、首都高速道路とも連結し、高速道路網の結節点付近にある。さらに、J R武蔵野線の三郷駅にも隣接しており、広域交通ターミナルゾーンに位置している。
- レクリエーション交通の視点からは、首都圏サイクリングロードの一環に組み込まれおり、多くのサイクリストの利用がみられる。

●広域的な位置図



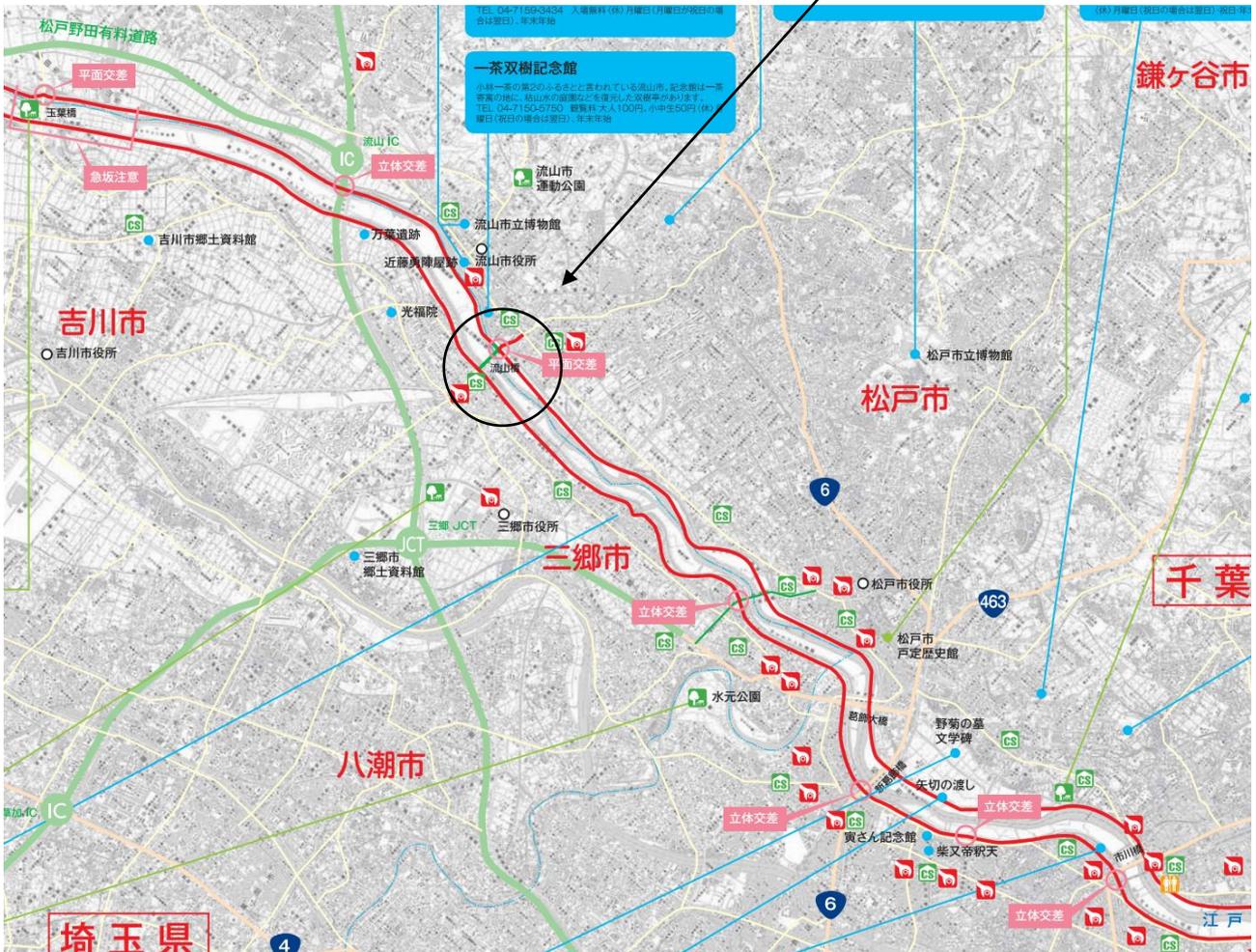
●広域的なサイクリングロード



NO 9 が、本計画対象地区が含まれる「江戸川サイクリング道路（一般県道三郷幸手自転車道線）」

計画対象地区周辺

●利根川・江戸川サイクリングロード



(資料：群馬県・埼玉県作成の「利根川・江戸川サイクリングロードマップ」を元に作成)

●三郷市の道路・鉄道・川のネットワークと計画対象地区周辺



## 2. 計画対象地区の状況

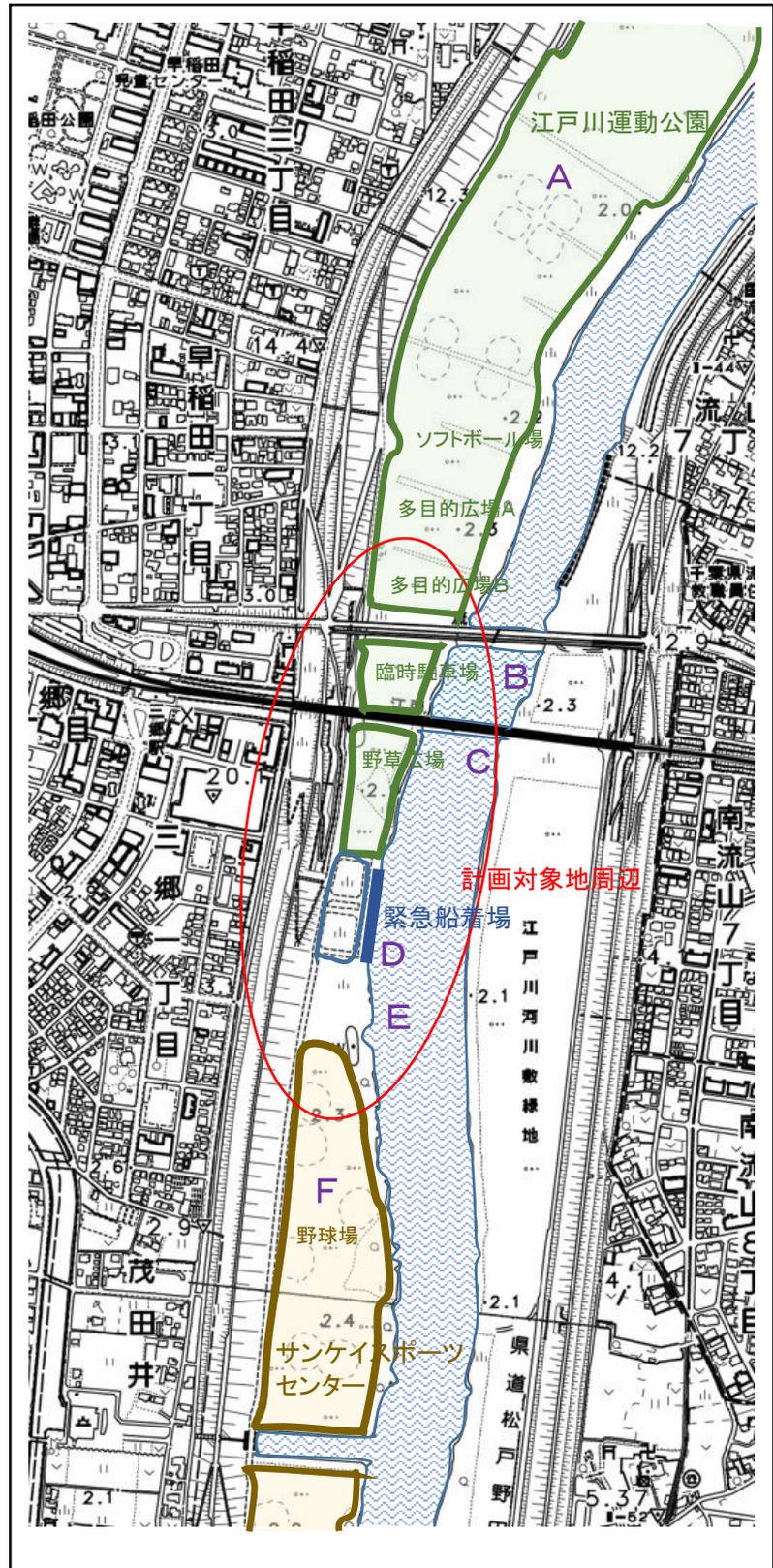
### 1) 土地利用

- 計画対象地周辺の北側一帯は、市が運営する運動公園となっている。
- 南側は民間のサンケイスポーツセンターが運営する野球場を中心とした運動公園となっている。
- 計画対象地の中心部に国が災害時の対策として整備した「緊急船着場」が整備されている。
- 緊急船着場周辺は草地となっており、特定の土地利用とはなっていない。
- 各エリアの占用状況は下表の通りである。

	土地利用	占有者
A	運動公園	市
B	臨時駐車場	市
C	野草広場	市
D	緊急船着場	—
E	繁茂	—
F	運動公園	サンケイスポーツセンター

※県道草加流山線高架下の占有者は千葉県  
JR 三郷駅高架下の占有者は JR

●計画対象地区周辺の土地利用



三郷駅前



三郷駅からの河川敷へアクセスするための階段部



商業施設とマンション複合施設が建設中



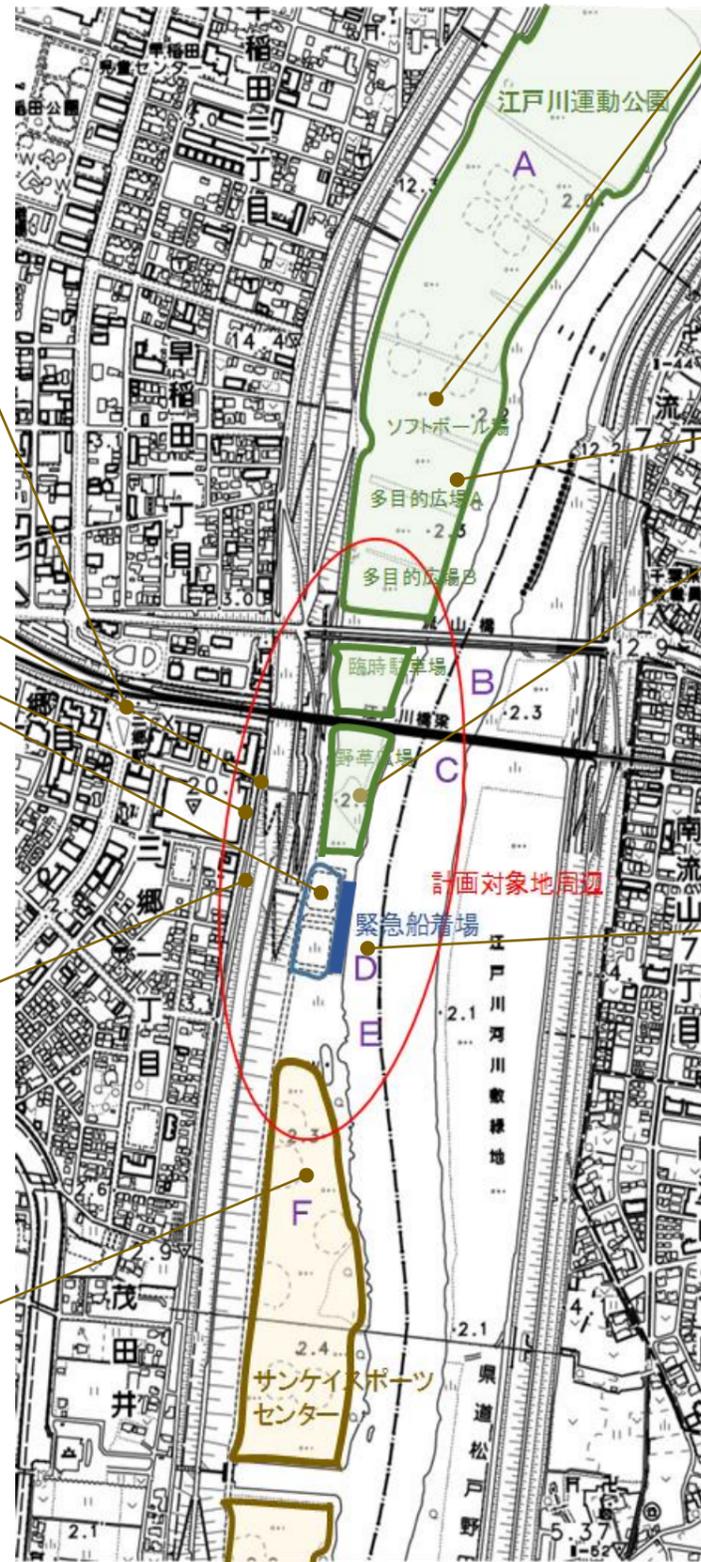
堰堤からみた計画対象地周辺の中心ゾーン



みさとの風ひろば



サンケイスポーツセンター



ソフトボール場



多目的広場



野草広場



野草広場の奥の池のあるしげみ



緊急船着場



緊急船着場での訓練の様子



## 2) 交通アクセス

○計画対象地周辺への車によるアクセスは、右図に示す3箇所となる。

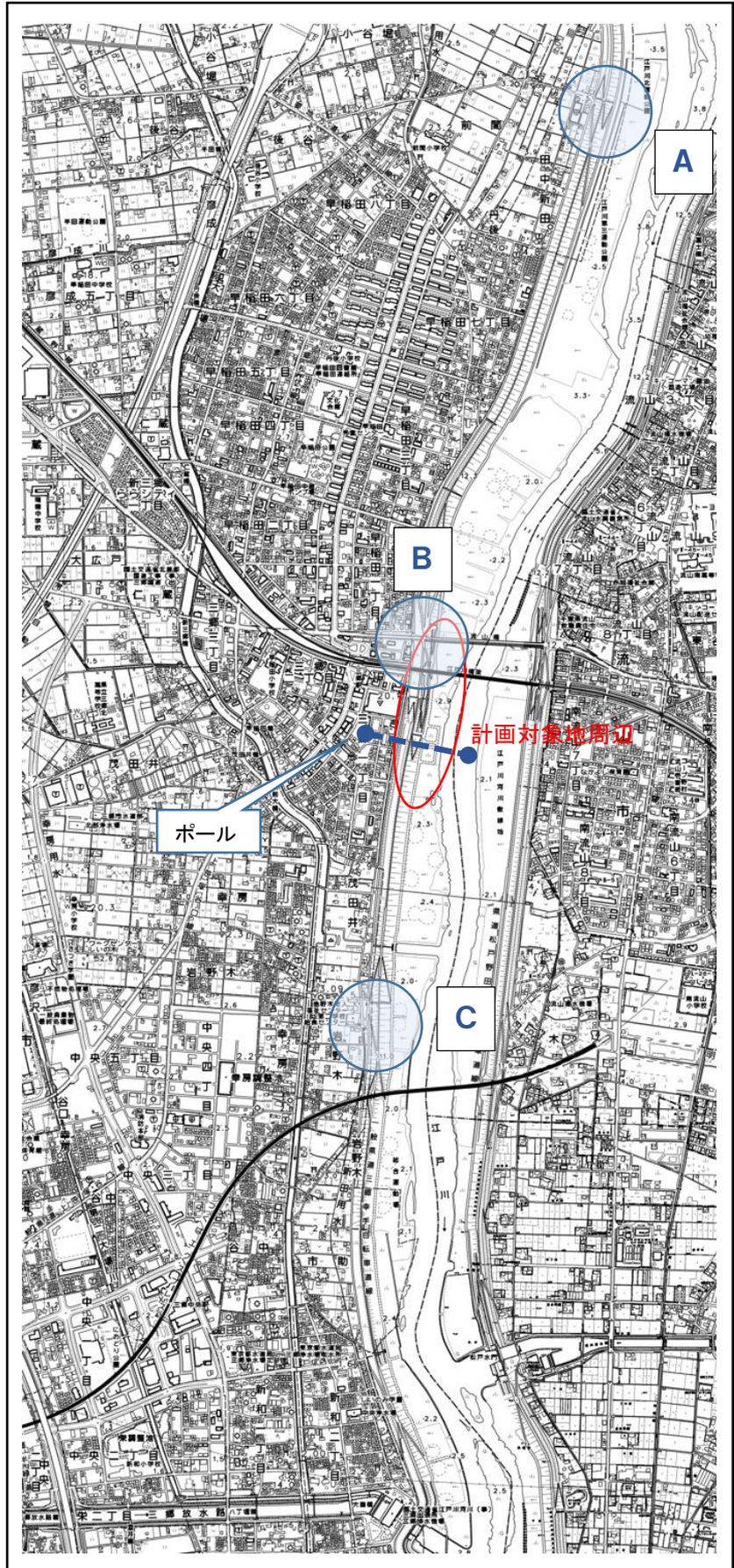
○Aは、土・日のみが通行可能で平日は使用できない。週末の運動公園の利用者が主な対象となっている。

○Cも土・日のみが使用可能で平日は使用できない。計画対象地周辺にポールが設置されているため、サンケイスポーツセンターの利用者が主な対象となっている。

○Bが計画対象地周辺へのアクセスには最も近いポイントになるが、県道草加流山線から計画対象周辺へのアクセスは通常時は南方面のみが可能となるため、方向によっては対向車線を横断することになり、交通渋滞の発生要因になることもある。

○計画対象地周辺にポールが設置されているため、通常時はA～C間の通り抜け通行はできない。

●計画対象地区周辺へのアクセス条件（その1）

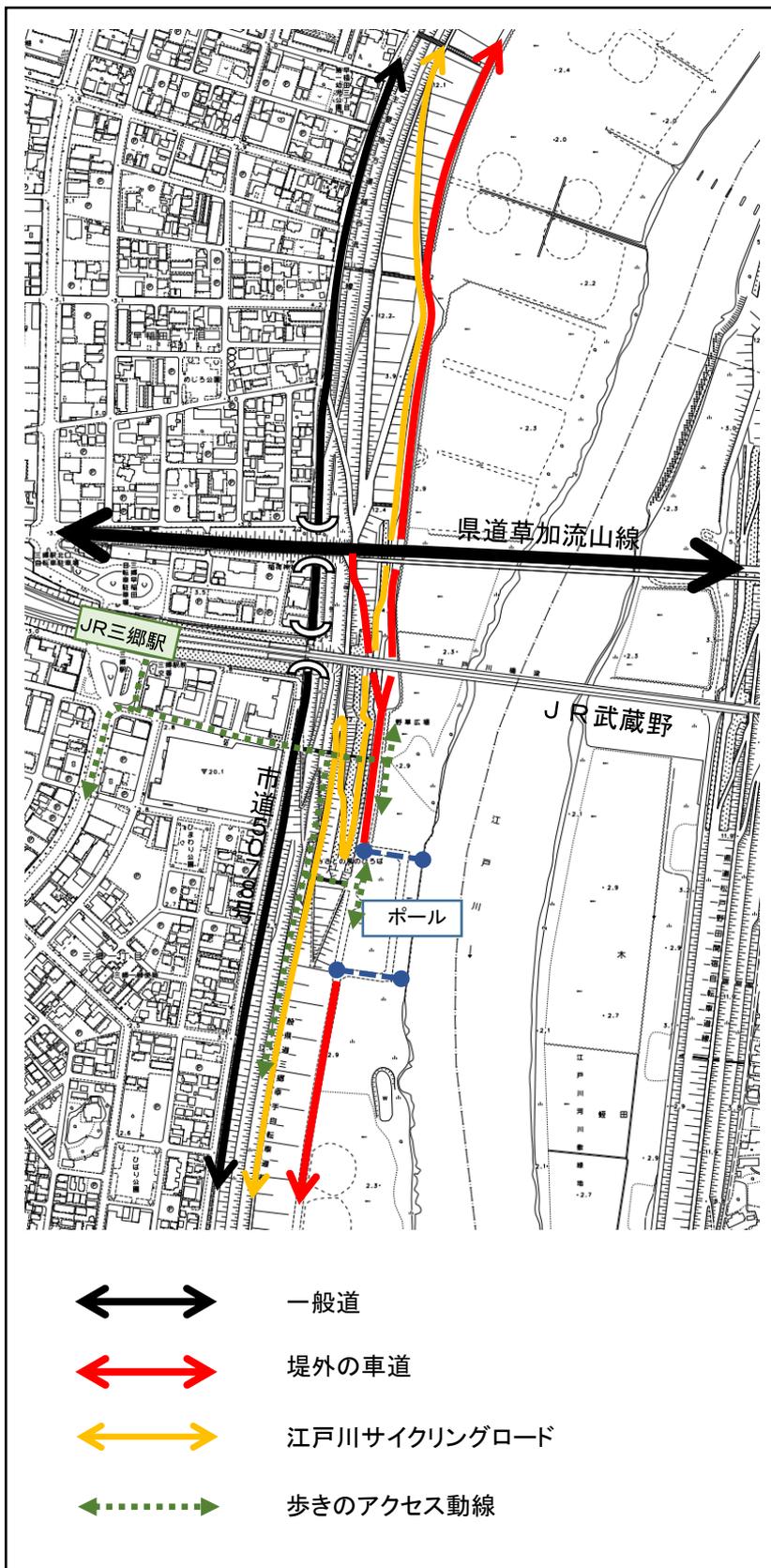


○計画対象地周辺の通常時の車や人の動線は右図に示すとおりである。

○車は県道草加流山線から南方面へのアクセスだけであり、西側方面から来た車は、進入時に対向車線を横断し、東側方面から来た車は、戻るときに対向車線を横断することになる。

○歩きでアクセスする場合は、三郷駅からや市街地方面からのアクセスとなり、市道 5078 号を横断することになり、交通量が多いことや、比較的速度を出している車も多いことから、交通事故等の発生が懸念される。

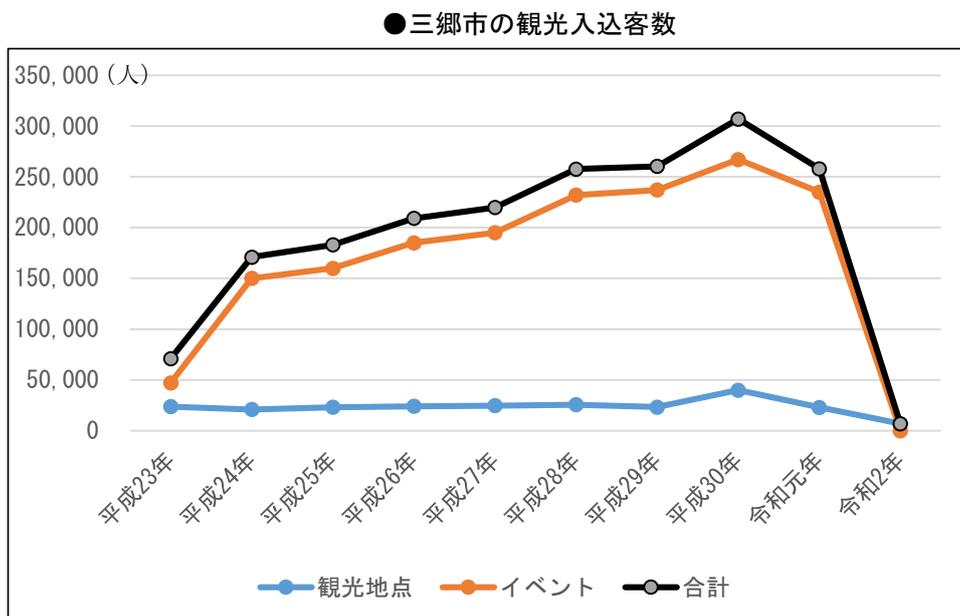
●計画対象地区周辺へのアクセス条件（その2）



### 3) 利用状況

#### ① 三郷市の観光入込客数

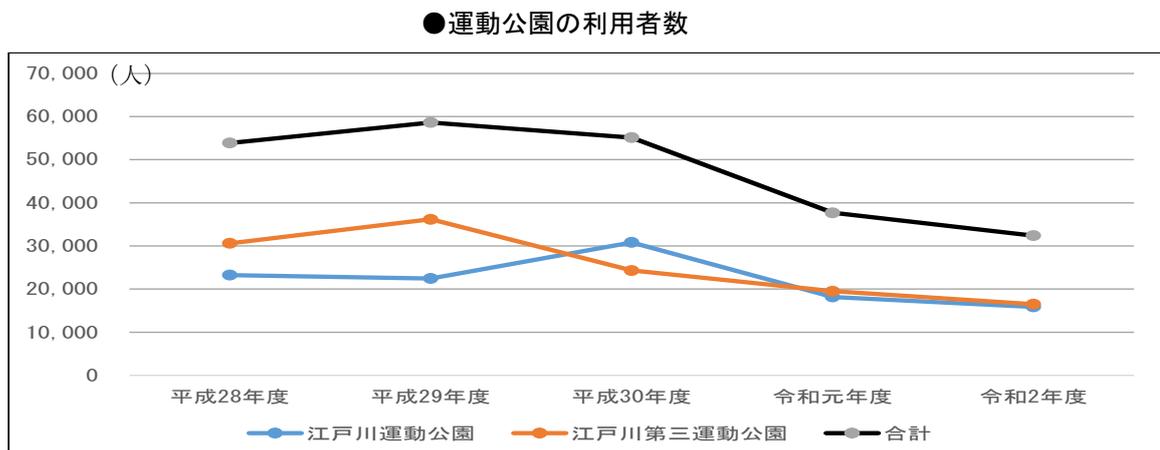
- 埼玉県「観光入込客数統計調査」によると、三郷市の観光入込客数は順調に増加傾向にあった。しかしながら令和元年以降はコロナ禍の影響が端的にでており、令和2年のイベント数は「0」となっている。
- なお、観光統計は必ずしも全数を把握したものではないので、傾向を捉えるものとして見ておくべきものと思われる。そういう視点からみると、三郷市の観光は近年徐々にその認知度は高まり、観光客数も増加の傾向にあったとみてよい。



(資料：「観光入込客統計調査」埼玉県)

#### ② 江戸川河川敷の利用状況

- 江戸川河川敷には、大規模な運動公園が整備されており、この運動公園の年間利用者数は以下のとおりで、平成元年度以降はコロナ禍の影響もあり減少しているが、通常であれば年間5～6万人程度の運動公園の利用がある。(詳細は次頁参照)



○また、計画対象地周辺においては、イベントや清掃活動を行っており、その参加者数は以下のとおりである。

＜みさとサマーフェスティバル花火大会：来場者数＞

平成30年度 110,000人  
令和元年度 80,000人



(資料：三郷市 HP)

＜江戸川クリーン大作戦：参加者数＞

令和元年度 447人  
令和4年度 223人



(資料：関東地方整備局江戸川河川事務所 HP)

●運動公園の利用者数

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
江戸川運動公園	野球場	8面	0	0	0		
	サッカー場	1面	11,125	13,725	13,016	6,752	4,435
	ラグビー場	1面	0	0			
	ソフト場					2,310	5,759
	多目的広場	1面	12,120	8,725	17,803	9,127	5,690
	<計>		23,245	22,450	30,819	18,189	15,884
江戸川第三運動公園	野球場	9面	21,809	26,092	14,475	10,935	8,052
	多目的広場兼サッカー場	1面	8,015	7,863	8,590	6,528	7,794
	多目的広場	1面	800	2,218	1,250	2,034	660
	<計>		30,624	36,173	24,315	19,497	16,506
合計			53,869	58,623	55,134	37,686	32,390

(データみさと)

## 1. 上位関連計画

計画対象地区の整備を検討する上で、上位関連計画としては以下のものがある。

これらの計画の中で本計画対象地区の位置づけや整備方向等を把握し、本計画との整合性を図るものである。

- ① 第5次三郷市総合計画（令和3年3月）
- ② 三郷市都市計画マスタープラン（令和3年9月）
- ③ 三郷市環境基本計画（令和3年3月）
- ④ 三郷市緑の基本計画（令和3年4月）
- ⑤ 三郷市景観形成計画（平成21年3月）
- ⑥ 三郷市スポーツ推進計画（令和3年3月）

なお、これらの計画については、以下の枠組みで整理を行っている。

- 計画の名称
- 策定年次
- 計画期間
- 計画の概要
- 本計画対象地区の位置づけ等

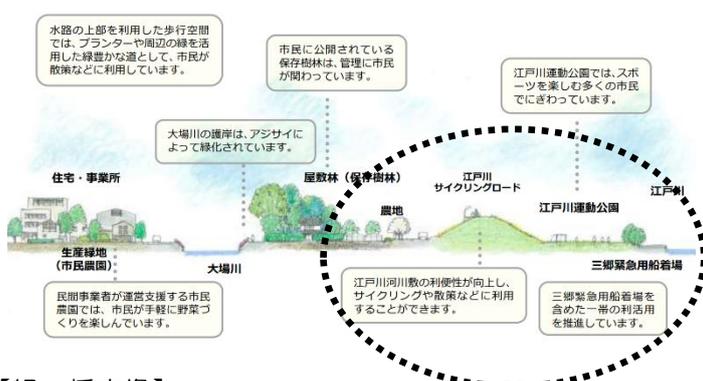
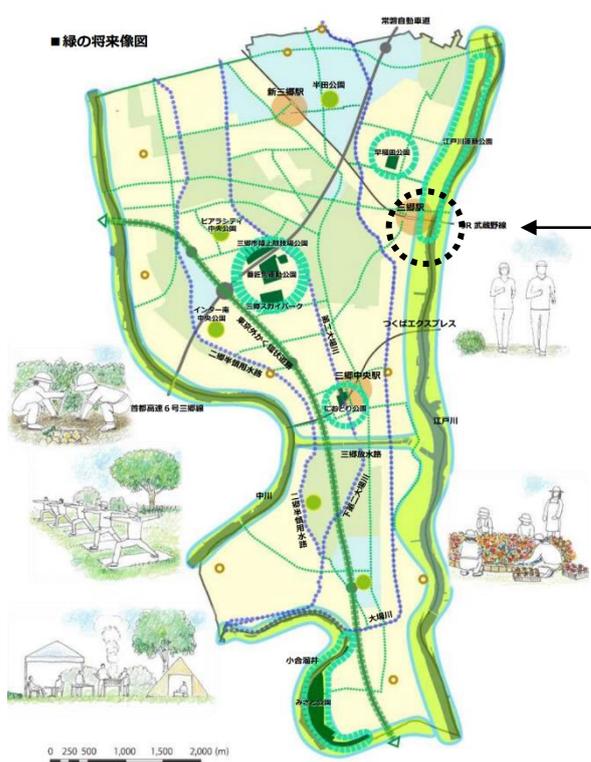
計画の名称	第5次三郷市総合計画
策定年次	令和3年3月
計画期間	令和3（2021）年度～令和12（2030）年度
<p>計画の概要</p>	<p>【まちづくりの理念】  自立都市みさと・活力都市みさと・交流都市みさと</p> <p>【将来都市像】  きらりとひかる田園都市みさと  ～ 人にも企業にも選ばれる魅力的なまち ～</p> <p>【将来都市構造】</p> <p>○J R三郷駅が「地域拠点」、計画対象地区周辺は「レクリエーション核」として位置づけられている。</p> <p>○計画対象地区は、快適な水辺空間創出のため、親水環境の整備を図るとされている。</p> <p>○また、市域全体を通して、環境負荷低減、市民の健康促進等含め、自転車利用の促進とそれに合わせた自転車道の整備が方向づけられている。</p> <p>○さらに、“災害から市民の生命と財産を守る”という考え方の基、江戸川を活用し、大規模災害時の緊急物資の郵送や避難者救済活動を行う目的で、計画対象地区には『緊急用船着場』が設置されている。</p>
<p>本計画対象地区の位置づけ等</p>	

計画の名称	三郷市都市計画マスタープラン
策定年次	令和3年9月
計画期間	令和3（2021）年度～令和22（2040）年度

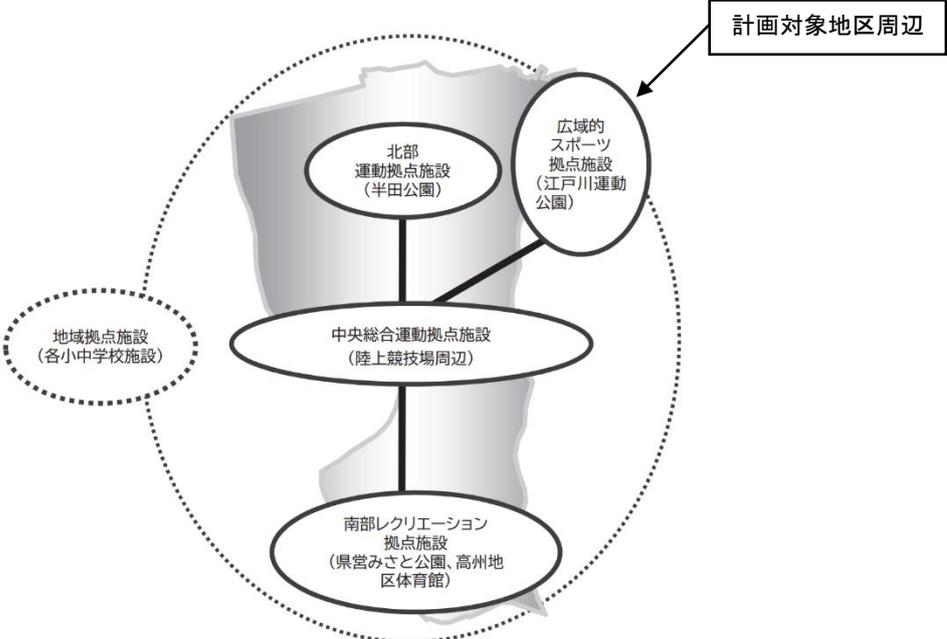
計画の概要	<p>【三郷市のまちづくりの目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 都市基盤の充実した活力あるまちづくり</li> <li>② 災害に強く安心して住めるまちづくり</li> <li>③ 水と緑、優れた景観を活かした魅力的なまちづくり</li> <li>④ すべての人にやさしい住み続けたいまちづくり</li> </ol> <p>【計画対象地区を含む早稲田地域のまちづくり方針】</p> <p>＜将来イメージ＞</p> <p>豊かな江戸川とともにいきづく</p> <p style="text-align: center;">ゆとりとふれあいがある安心なまち “早稲田”</p> <p>＜まちづくり方針図＞</p>
-------	---

本計画対象地区の位置づけ等	<p>○三郷市のまちづくりの4つの目標の中で、特に「水と緑、優れた景観を活かした魅力的なまちづくり」を推進するための重要な一翼を担い、「水と緑のネットワークを形成する拠点」の一つとなっている。</p> <p>○また、計画対象地区は、三郷駅周辺から江戸川河川敷一帯にかけ「レクリエーション核を活用したまちづくり」と位置付けられており、既存の運動公園を含め、河川敷空間のさらなる活用が求められる。</p>
---------------	--

計画の名称	三郷市環境基本計画
策定年次	令和3年3月
計画期間	令和3（2021）年度～令和12（2030）年度
計画の概要	<p>【目指すべき将来の環境像】 豊かな水と緑とともに環境について考え、創造に取り組むまち</p> <p>【施策の体系】</p> <div style="text-align: center;"> <p>計画対象地区周辺の特に関わりを持つ分野</p> </div>
本計画対象地区の位置づけ等	<p>○基本目標「水と緑の豊かな自然を身近に感じられるまちづくりの実現」について特に関わりが強く、生物多様性や水質浄化、あるいは水辺環境の保全・創出について、市民活動の実践の場であり、また、それらの活動を通して市民が環境について学ぶ場としても重要な地区として位置付けられる。</p>

<p>計画の名称</p>	<p>三郷市緑の基本計画</p>
<p>策定年次</p>	<p>令和3年4月</p>
<p>計画期間</p>	<p>令和3（2021）年度～令和12（2030）年度</p>
<p>計画の概要</p>	<p>【緑の将来像】 みどりと“友”に健やかに成長するガーデンシティみさと 【緑のまちのイメージ】</p>  <p>【緑の将来像】</p>  <p>計画対象地区周辺のイメージ</p> <p>計画対象地区周辺</p>
<p>本計画対象地区の位置づけ等</p>	<p>○江戸川は本市の「水と緑の骨格軸」に位置付けられており、その中で計画対象地区周辺までは「緑のレクリエーション拠点」、JR三郷駅は「緑の交流拠点」となっている。 ○江戸川河川敷～三郷駅を一帯として、“水と緑”をキーワードとした、交流の場の形成を図る方向付けがなされている。</p>

計画の名称	三郷市景観形成計画
策定年次	平成 21 年 3 月
計画期間	—
<p>計画の概要</p>	<p><b>【基本目標】</b>  自然と街が調和し、ほっとする景観づくり  ～ 水・緑と街（まち）が調和する景観連鎖</p> <p><b>【北部・早稲田地域の景観形成方針】</b>  豊かな水景観とともに、市民の憩いとスポーツの場としての景観形成に努める</p> <p><b>【景観形成方針図】</b></p> <p>江戸川運動公園等景観拠点  新三郷ららシティ地区景観ゾーン  新三郷駅景観拠点  JR武蔵野線  常磐自動車道  新三郷駅  三郷駅  東京外かく環状道路  中川  郷半用水  第一大浦川  大堀川  江戸川  三郷駅景観拠点</p> <p>計画対象地区周辺</p> <p><b>凡例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■景観ゾーン <ul style="list-style-type: none"> <li>とよめき景観ゾーン (dotted line)</li> <li>まちぞろみ景観ゾーン (yellow)</li> <li>商業系景観エリア (red)</li> <li>工業系景観エリア (purple)</li> </ul> </li> <li>■景観軸 <ul style="list-style-type: none"> <li>水辺景観軸 (blue wavy line)</li> <li>道路景観軸 (red line)</li> <li>鉄道景観軸 (black line with circle)</li> </ul> </li> <li>■景観拠点 <ul style="list-style-type: none"> <li>駅景観拠点 (red circle)</li> <li>みず・みどりレクリエーション景観拠点 (green circle)</li> </ul> </li> <li>--- 地域境界線</li> <li>◆ 指定文化財</li> <li>■ 公共施設</li> <li>★ 霊柩・消防署、郵便局</li> <li>● 小・中・高校</li> </ul>
<p>本計画対象地区の位置づけ等</p>	<p>○この計画は令和3年4月に策定された「緑の基本計画」に包含されてもいるが、景観形成という視点からみたとき、運動公園一帯の緑の景観とともに江戸川河川敷から三郷駅一帯については、緑の景観としての連続性を保つ方向付けがなされている。</p> <p>○しかしながら、運動公園一帯は、緑の景観特性は有しているが、“水との接点”が弱く、今後の検討すべき一つの視点になると思われる。</p>

計画の名称	三郷市スポーツ推進計画
策定年次	令和3年3月
計画期間	令和3（2021）年～令和12（2030）年
計画の概要	<p>【基本理念】 スポーツがつなぐ笑顔あふれるまち“みさと”</p> <p>【スポーツ拠点形成の考え方】</p> 
本計画対象地区の位置づけ等	<p>○計画対象地区に隣接して江戸川運動公園があり、ここが本市のスポーツ拠点の一つとなっている。</p> <p>○計画対象地区の今後の整備方向を考える上で、運動公園との連続性をどのように捉えるかは検討課題となる。</p> <p>○なお、計画対象地区には「江戸川自転車道」と休憩スポットとしての「みさとの風のひろば」が整備されており、計画対象地の利用対象としては、現在の運動公園利用者（市民が中心）とともに、サイクリスト（広域住民）を対象とした利用の在り方も検討の視点となる。</p>

## 2. 既定関連計画等

これまで、計画対象地区及び計画対象地区を含むエリアについて様々な検討がなされてきている。

ここでは、これらの計画を再整理し、どのような方向付けや内容が検討されてきたのかを明確にし、今後の検討の基礎資料とすることを目的としている。

対象にした既定関連計画等としては、以下のものである。

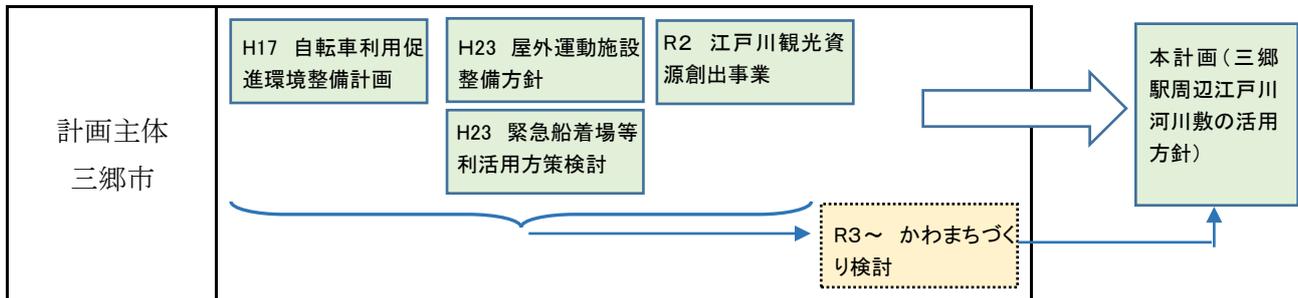
＜三郷市全体を検討の対象として、その中で本計画対象地区の整備提案があるもの＞

- ① 三郷市自転車利用促進環境整備計画（平成 17 年 2 月）
- ② 三郷市江戸川観光資源創出調査事業（令和 2 年 2 月）

＜本計画対象地区周辺を主な検討エリアとしたもの＞

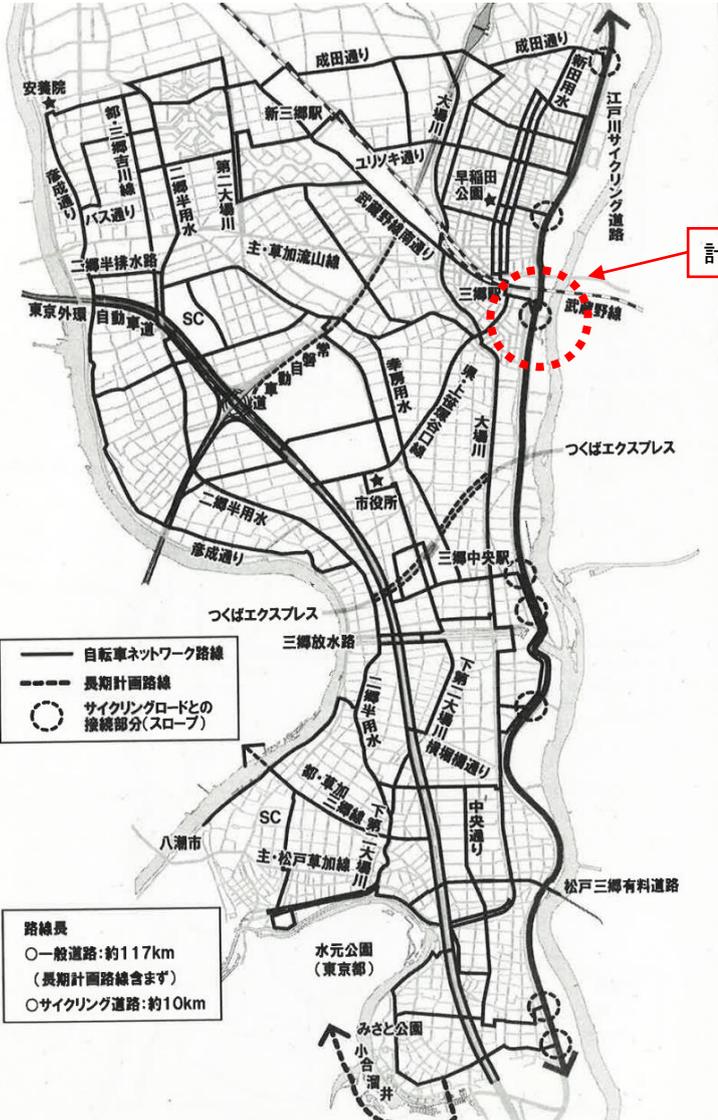
- ③ 三郷緊急用船着場等利活用方策検討業務（平成 23 年 3 月）

### ●既定関連計画等の流れと本計画との関係性



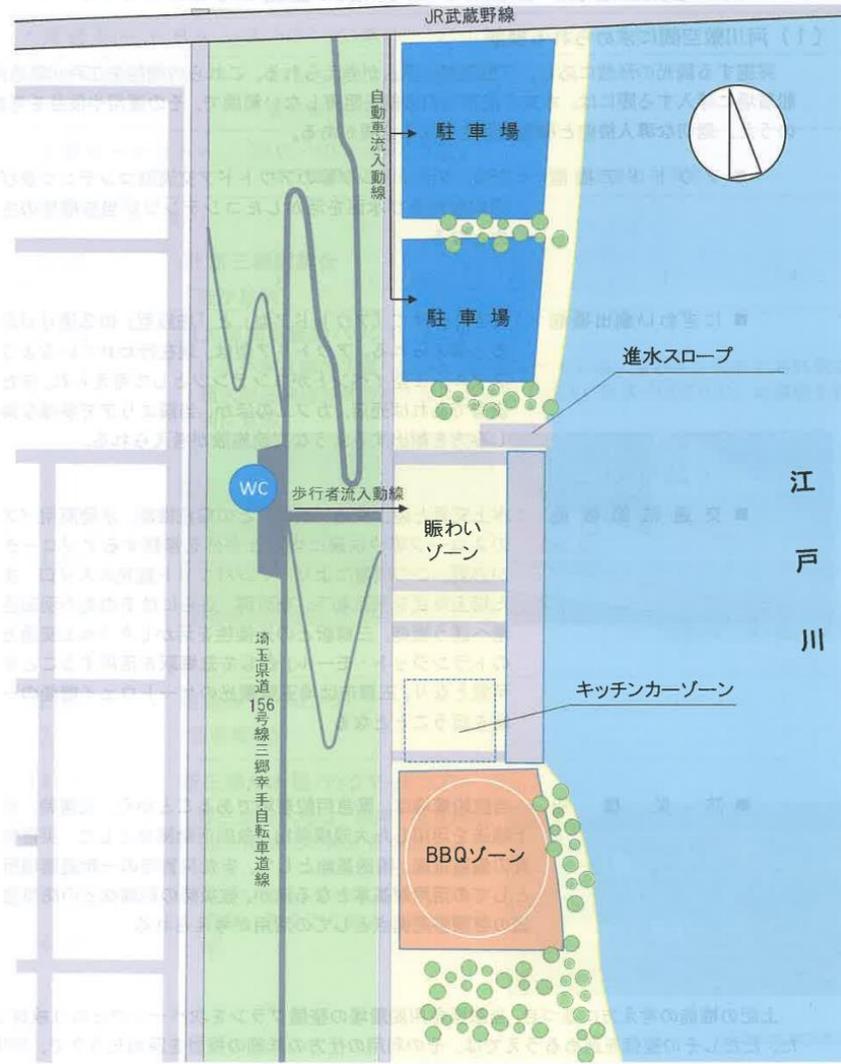
なお、これらの計画については、以下の枠組みで整理するものとする。

- 計画の名称
- 策定年次
- 計画期間
- 計画の概要
- 本計画対象地区周辺に関する内容
- 本計画の検討の上で留意すべき点

計画の名称	三郷市自転車利用促進環境整備計画書（三郷市）
策定年次	平成 17 年 2 月
計画期間	—
計画の概要	<p>【計画の目的】 市内の自転車利用促進のための計画</p> <p>【計画目標としての自転車ネットワーク路線】</p> 
本計画対象地区周辺に関する内容	<p>○当計画においては、具体的な提案内容はみられないが、「江戸川サイクリング道路」は重要な路線と位置付けられており、計画対象地周辺は、街（まち）方面との接続部分の一つとなっている。</p>
本計画の検討の上で留意すべき点	<p>○江戸川サイクリング道路から、いかに街（まち）方面への誘導を図るかが重要となる。</p> <p>○市内における自転車道の整備の促進が、“自転車で楽しく回れるまち”としての環境づくりを進めることとなる。</p>

計画の名称	三郷市江戸川観光資源創出調査事業（三郷市）
策定年次	令和2年2月
計画期間	—
計画の概要	<p><b>【計画の目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市内の地域資源を活用し、首都圏住民を対象とした、駅を起点とした日帰り型周遊ルートづくり。</li> <li>○「三郷緊急用船着場」を活用した河川敷の整備プラン</li> </ul> <p><b>【緊急用船着場を活用したプラン】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○河川敷地占有に係る法的要件や、「かわまちづくり支援制度」等を踏まえ、次の4つの導入機能が示されている。</li> </ul> <p><b>①アウトドア機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BBQ、グランピング等のアウトドア交流型の施設導入</li> <li>・河川敷地及び水面を活用した活動の導入</li> </ul> <p><b>②にぎわい創出機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトドア型：マルシェ型イベントの展開</li> <li>・施設型：売店、カフェ等の施設導入</li> <li>・その他の交流施設の導入</li> </ul> <p><b>③交通結節機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水上交通と陸上交通（鉄道）との接続（但し、水陸両用バスのスロープ等や快適に堤内と堤外を接続するアプローチが必要）</li> <li>・このことによりJR三郷駅が「水上交通とのトランジット・モール」となり、インバウンドも含めた埼玉県観光のゲートウェイとなる。</li> </ul> <p><b>④防災機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急用船着場であり、災害時、水上輸送を活用した大規模救出・救助活動拠点として、災害物資の備蓄倉庫、輸送基地として、また災害時の一時避難場所としての活用が基本となる。</li> <li>・被災時の訓練などの防災意識の啓発拠点としての活用となる。</li> </ul>

<配置プラン>



本計画対象地区周辺に関する内容

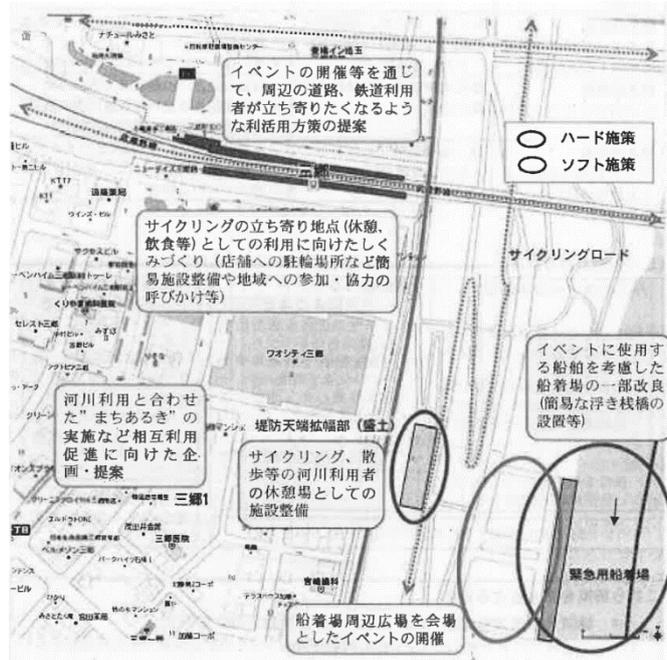
○本計画対象地区の主たるエリアについてのプラン例となる。

本計画の検討の上で留意すべき点

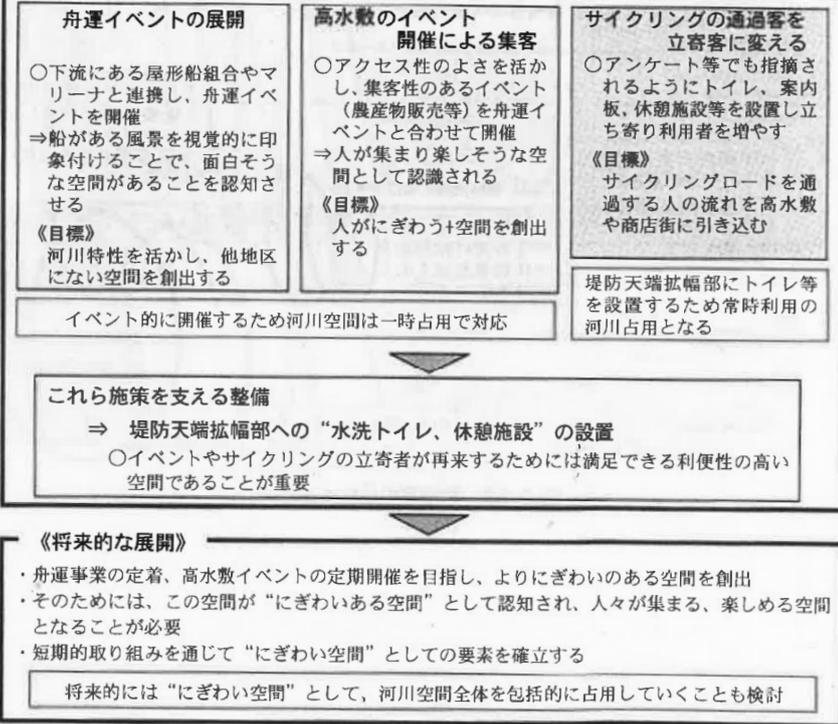
○法的要件は踏まえた上でのプランではあるが、今後河川管理者や地元住民・関係者との意見調整が必要となる。

計画の名称	三郷緊急船着場等利活用方策検討業務（三郷市）															
策定年次	平成 23 年（2011）年 3 月															
計画期間	—															
計画の概要	<p>【計画の目的】</p> <p>国により整備された緊急船着場周辺を“江戸川交流拠点”として位置づけ、ハード・ソフト両面からにぎわい拠点の整備方向を明らかにする。</p> <p>【利活用の基本方針】</p> <p>にぎわい空間を創出するための要素とその組み合わせの考え方は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="502 1339 1321 1702"> <thead> <tr> <th>にぎわい空間創出に向けた要素</th> <th>ハード施策</th> <th>ソフト施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1の要素 三郷駅・商店街からの人の流れ</td> <td>機器の設置 等</td> <td>・地元商店街、近隣農家有志等による高水敷での出店、販売（マルシェ等の開催）</td> </tr> <tr> <td>第2の要素 サイクリングロード等を利用する人の流れ</td> <td>トイレ、案内板、休憩施設（ベンチ、四阿）、ランドマークとなる植樹 等</td> <td>・“まち”でのサイクリストの受け入れ体制の構築 ・まちなかマップの作成（グルメ情報等）</td> </tr> <tr> <td>第3の要素 江戸川でのリパークルーズ</td> <td>係船環、着脱式簡易浮き桟橋の設置 等</td> <td>・漁協の協力による投網実演、体験 ・緊急用船着場を利用した周遊、遊覧 ・帰宅困難者輸送実験（防災訓練等）</td> </tr> <tr> <td>第4の要素 JRなど広域交通網による来訪客の流れ</td> <td>JR、流山橋通過時にも目に入るのぼり旗設置（基礎）等</td> <td>・鉄道事業者（JR、TX 等）とのタイアップによる“駅からハイク”、“駅からバイク”等のイベント開催</td> </tr> </tbody> </table>	にぎわい空間創出に向けた要素	ハード施策	ソフト施策	第1の要素 三郷駅・商店街からの人の流れ	機器の設置 等	・地元商店街、近隣農家有志等による高水敷での出店、販売（マルシェ等の開催）	第2の要素 サイクリングロード等を利用する人の流れ	トイレ、案内板、休憩施設（ベンチ、四阿）、ランドマークとなる植樹 等	・“まち”でのサイクリストの受け入れ体制の構築 ・まちなかマップの作成（グルメ情報等）	第3の要素 江戸川でのリパークルーズ	係船環、着脱式簡易浮き桟橋の設置 等	・漁協の協力による投網実演、体験 ・緊急用船着場を利用した周遊、遊覧 ・帰宅困難者輸送実験（防災訓練等）	第4の要素 JRなど広域交通網による来訪客の流れ	JR、流山橋通過時にも目に入るのぼり旗設置（基礎）等	・鉄道事業者（JR、TX 等）とのタイアップによる“駅からハイク”、“駅からバイク”等のイベント開催
にぎわい空間創出に向けた要素	ハード施策	ソフト施策														
第1の要素 三郷駅・商店街からの人の流れ	機器の設置 等	・地元商店街、近隣農家有志等による高水敷での出店、販売（マルシェ等の開催）														
第2の要素 サイクリングロード等を利用する人の流れ	トイレ、案内板、休憩施設（ベンチ、四阿）、ランドマークとなる植樹 等	・“まち”でのサイクリストの受け入れ体制の構築 ・まちなかマップの作成（グルメ情報等）														
第3の要素 江戸川でのリパークルーズ	係船環、着脱式簡易浮き桟橋の設置 等	・漁協の協力による投網実演、体験 ・緊急用船着場を利用した周遊、遊覧 ・帰宅困難者輸送実験（防災訓練等）														
第4の要素 JRなど広域交通網による来訪客の流れ	JR、流山橋通過時にも目に入るのぼり旗設置（基礎）等	・鉄道事業者（JR、TX 等）とのタイアップによる“駅からハイク”、“駅からバイク”等のイベント開催														

【利活用のイメージと短期的な取組案】



《短期的取り組み》



本計画対象地区周辺に関する内容

○船着き場周辺の整備については、実現の可能性を含め、ハード・ソフト両面から検討されている。

本計画の検討の上で留意すべき点

○堤防天端拡幅部については“みさとの風ひろば”として、水洗トイレ、休憩施設は整備されたが、その他の提案については、概ね未着手である。

### 3. 上位・既定関連計画等からみた計画対象地区に関する提案メニュー

○上位計画やこれまで計画対象地周辺を含む各種計画からみると、以下のような方向付けや提案がなされている。

三郷市の広域的  
位置づけや  
整備方向につ  
いて

- 市の最上位計画である「第5次三郷市総合計画」で、計画対象地周辺は『レクリエーション核』として位置づけられている。
- レクリエーション核としての展開方向は、“水と緑のネットワークを形成する拠点”であるとともに、「環境学習」「防災学習」の役割も担う。
- JR三郷駅と合わせ、将来的な展望としては江戸川の水上交通が整備された場合は、“トランジット・モール”を形成することができ、『埼玉県観光のゲートウェイ』としての役割が可能とされている。

河川敷の利活  
用について

#### 【にぎわい空間を創出するための主な提案】

- ◇アウトドアのレクリエーション機能の整備
  - ・キャンプ場（焚火空間含む）
  - ・バーベキュー広場
  - ・ドッグラン
  - ・グランピング
  - ・ドローン練習場
- ◇スポーツ機能の整備
  - ・サッカー場（天然芝）
  - ・サイクリングの休憩スポット
  - ・ゴルフコース
  - ・クラブハウス
- ◇各種イベント等が開催できるスペース機能
  - ・コンサート広場
  - ・ドライブインシアター
  - ・マルシェ広場
- ◇江戸川を親水の間として活用できる機能の整備
  - ・ワンドによるビオトープ観察場
  - ・浮き栈橋
  - ・SUP やカヌー等の水上アクティビティ
  - ・親水護岸
  - ・遊覧船や投網体験

#### 【基盤整備に関する主な提案】

- ◇アクセス機能の整備
  - ・堤内から河川敷にアクセスできる進入路の整備
  - ・法尻に則して通る市道 5078 号の整備拡充・安全対策
- ◇高水敷における整備
  - ・砂利敷道路の舗装化
  - ・自転車と歩行者の安全対策の確保
  - ・水場（手洗い等）やトイレの整備充実

まち中や周辺  
地域との連携  
について

#### 【市内での連携】

- ・JR三郷駅～商店街～河川敷の回遊ルートの整備と受入体制づくり
- ・「川（江戸川～三郷放水路～中川）」のネットワークづくり

#### 【広域的連携】

- ・江戸川下流域と連携した舟運イベントの開催
- ・対岸の自治体と連携したイベントの開催

これまでの検討を踏まえ、今後の三郷市の観光振興や江戸川河川敷の活用に向けた問題点・課題は次のように概括される。

#### ① 立地条件の良さを十分に活かしてきれていない

- 鉄道や高速交通の利便性が高く、首都圏の膨大な需要を呼び込める位置にあるが、その特性が十分には活かされていない。
- その為には、河川敷の魅力アップとともに、“三郷の観光”のコンセプトを確立し、外に対して三郷の魅力の発信力を高めていく必要がある。

#### ② 江戸川河川敷周辺は三郷市の「レクリエーション核」に位置付けられているが内容に乏しい

- 現状では、野球場等を中心とするスポーツ系の施設は整備されているが、市民や観光客等の一般に向けたレクリエーション機能が未整備である。
- 河川敷の特性である“親水性（含：環境学習）”や“広大な空間の広がり”を活かしたレクリエーション機能が整備されていない。
- 広域ネットワークの江戸川サイクリングロードが通っており、「みさとの風のひろば」は整備されているが、サイクル拠点としての機能が必ずしも十分ではなく、現状では小休憩スポットとしての役割しか果たしていない。
- 緊急船着場が整備され、防災学習の場としても役割が求められているが、現状の船着場の構造的な問題もあり、その機能が十分に果たせていない。

#### ③ 江戸川河川敷を利用するにはアクセス条件が必ずしも良好ではない

- 歩行でのアクセスは、JR三郷駅からのアクセスになるが、駅における情報提供が乏しく、駅からのルートも河川敷へいざなう環境整備ができていない。
- また、市道 5078 号を平面交差で横断する必要があり、交通量も比較的多く交通事故等の危険性をはらんでいる。
- 車でのアクセスは、計画対象地区周辺からは少し離れた距離にあり、そこまでの誘導や高水敷の道路も未舗装箇所が多く、駐車場も十分には確保されていない。

#### ④ 河川敷からまち（街）への流れを促し、市の観光活性化を誘発する仕掛けが十分ではない

- 河川敷とJR三郷駅や商店街とを繋ぎ人の流れを促す方策が現状ではできていない。
- さらに「川」のネットワークが三郷の大きな特徴であるが、江戸川河川敷をレクリエーション核とした“水と緑のネットワーク”を軸として、江戸川～三郷放水路～中川や、その軸上にある県営みさと公園との連携など、地域の特性や資源の活用が十分ではない。

## 1. 河川敷の整備の基本的な考え方

### 1) 狙い

本計画対象地区の整備の主な狙いは次の2点とする。

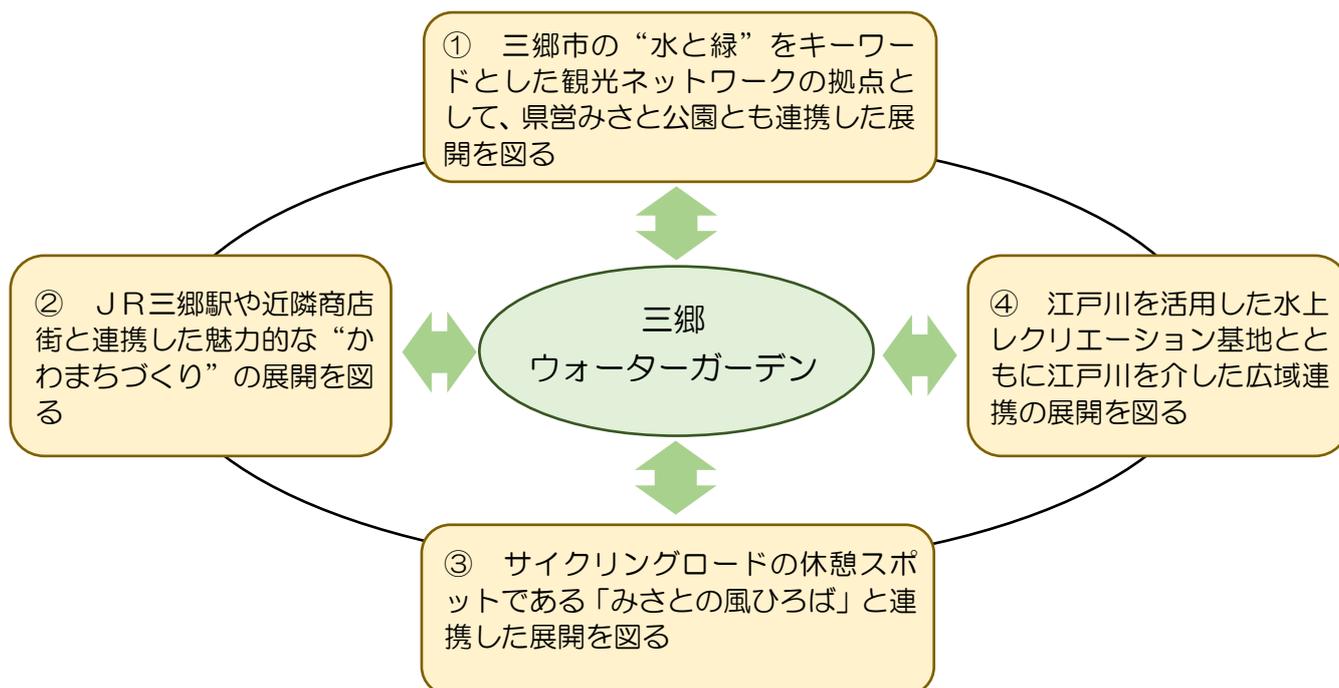
- 三郷市の“レクリエーション核”としての機能を充実することにより、三郷市の観光振興のリーディング的役割を担う。
- まち（街）との連携を強め、河川空間のみならず、“かわまち”が一体となった拠点形成を図る。

### 2) コンセプト

## 三郷 ウォーターガーデン

「ウォーターガーデン」とは“誰にでも開かれた水辺空間の庭”ということであり、市民はもとより、積極的に観光客を受け入れ、河川敷周辺のみならず、ここを“水と緑ネットワーク拠点”として、三郷市全体としての観光交流を促進させていくことを目指したものである。

また、このコンセプトに基づく展開の方向は次のものとする。



なお、4つの展開方向は、次のものとする。

① 三郷市の“水と緑”をキーワードとした観光ネットワークの拠点として、中川や県営みさと公園とも連携した展開を図る

首都圏の膨大な観光需要を潜在的に有している本市ではあるが、現状ではこれら需要を誘発・吸引できる拠点形成が必ずしも十分ではない。

本市のイメージアップを、“水と緑”というキーワードを軸として今後展開していくに当たり、本計画対象地をその先導的な役割を果たす拠点として位置づけ整備することにより、徐々に中川や県営みさと公園とのネットワーク形成も図られることが期待される。

また、この拠点が整備され魅力を発信していくことにより、JR武蔵野線新三郷駅かららぽーとを中心にした膨大なショッピング需要とも結びつき、ショッピング兼観光という新たな誘発効果も期待される。

② JR三郷駅や近隣商店街と連携した魅力的な“かわまちづくり”の展開を図る

計画対象地へのアクセスとしては、車によるアクセスとJR三郷駅からの歩きによるアクセスとなるが、いずれのアクセスも現状では必ずしも十分ではなく、特にJR三郷駅からのアクセスは、車を使わない市民や観光客等にとっては重要なアクセスとなる。

また、計画対象地をより魅力的な空間としていくためにも、計画対象地周辺への各種サービス提供者としての役割や、計画対象地周辺に訪れた人の散策や休憩・飲食・ショッピングの場としてもJR三郷駅周辺を含めた商店街等のまち（街）空間との繋がりは重要であり、そのことにより経済波及効果やまちの魅力発信強化に繋がることが期待される。

③ サイクリングロードの休憩スポットである「みさとの風ひろば」と連携した展開を図る

江戸川サイクリングロードは東京・千葉・埼玉にわたる広域のサイクリングロードであり、多くのサイクリストの利用がある。しかしながら、休憩スポットとして「みさとの風ひろば」は整備されたが、現状では単なる休憩スポットとしての利用にとどまっている。

この場と計画対象地は隣接した場であり、この休憩スポットと併せてサイクリストにアピールできる場を計画対象地に整備することにより、サイクリストの滞留性を高めることが期待される。また、計画対象地方面のみならず、地元商店街方面へサイクリストの需要を誘引するには、「みさとの風ひろば」での情報発信強化とともに、商店街での受入体制の強化により、さらに滞留性強化の効果が期待される。

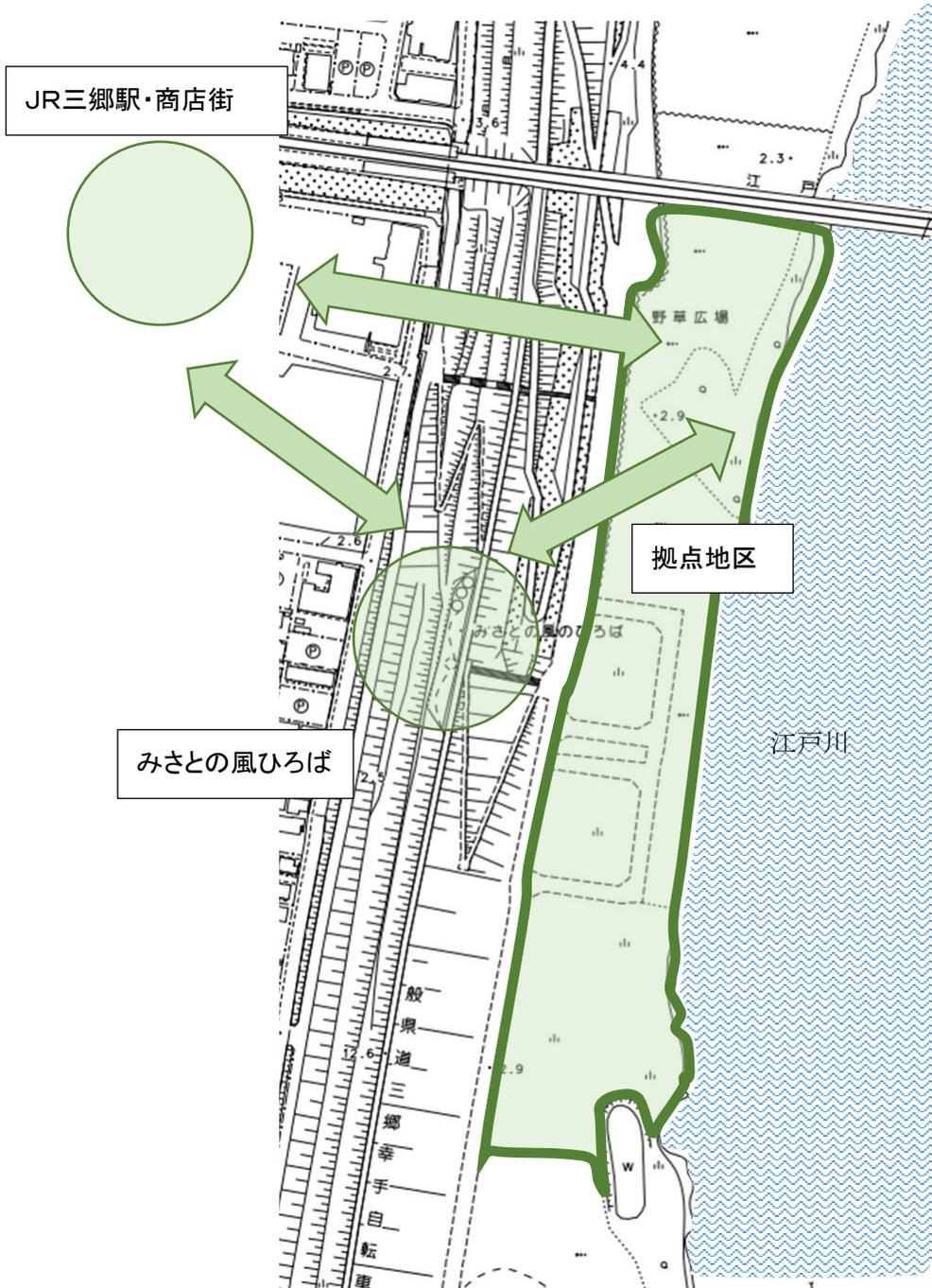
④ 江戸川を活用した水上レクリエーション基地とともに、江戸川を介した広域連携の展開を図る

今後の、中長期的な展開として、江戸川挟んだ対岸の流山市や、上流・下流域との広域連携を図り、共催によるイベント開催や、舟運による江戸川ネットワークを形成していくことにより、本計画対象地のさらなる魅力アップに繋がることが期待される。

## 2. 拠点地区の設定と整備の基本方針

### 1) 拠点地区の設定

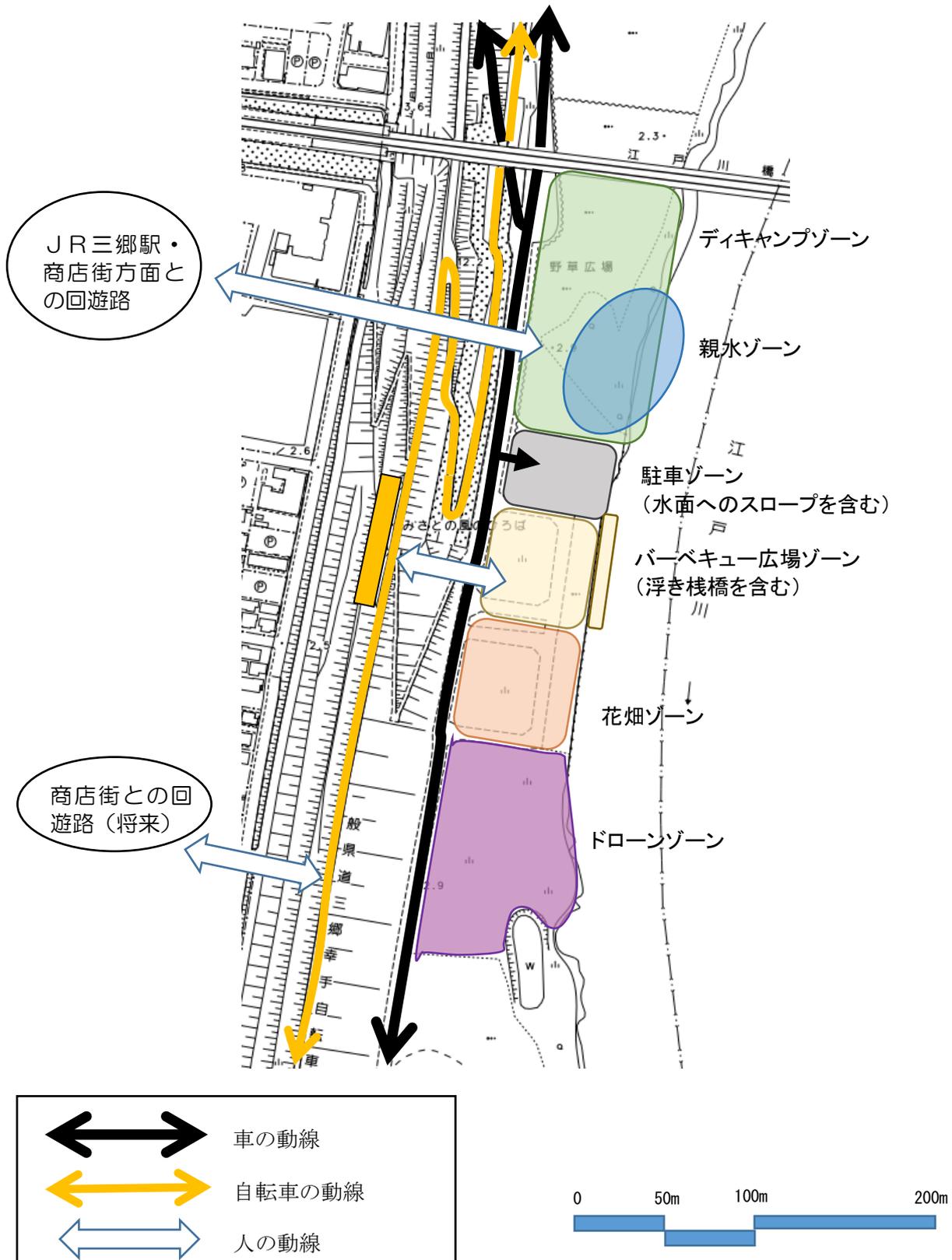
拠点地区とは、今回の整備対象地区の中で第1期として取り組んでいくエリアとして設定したものであり、関連する「みさとの風ひろば」と「JR三郷駅・商店街」との連携を図るものである。



## 2) 拠点地区の整備ゾーニング

拠点地区のゾーニングは、以下の示すものである。

また、この拠点とJR三郷駅さらにはまち（商店街）との連携を含め、連携を誘発する仕組みづくりをおこなっていく。



### 3) ゾーン別整備内容

ゾーン名	整備イメージ
<p>ディキャンプ ゾーン</p>	<p>○親子連れや若い人たちが、川辺の風に吹かれながら、思いおもいに食事をしたり休息したりできる場所である。</p> <p>○テントは利用者の持ち込みとして、テントを設置できる場所は整備する。</p> <p>○水場（水道水）を整備し、河川敷利用者の水場としても活用する。</p> <p>○高水敷の水路から、親水ゾーンへの引き込み小川を整備する。</p> <p><b>【今後の検討課題】</b></p> <p>※水場の設置に当たっては、水道水の引き込みと、排出問題を検討する必要がある。また、水場の設置場所については、このゾーンが適切か否かの検討も必要である。</p> <p>※親水ゾーンへの小川の引き込みについては、取水・排水方法を明確にしておく必要がある。</p>
<p>親水 ゾーン</p>	<p>○江戸川に直接触れられる親水空間で、現在の擁壁を一部親水護岸に改修してじゃぶじゃぶ池的な場とする。</p> <p>○引き込みの小川を含め、ビオトープ等の環境学習もできる場である。</p> <p><b>【今後の検討課題】</b></p> <p>※潮位の変化を含め、水難事項等の安全対策について検討する必要がある。</p>
<p>駐車場 ゾーン</p>	<p>○拠点を利用する人の車の駐車スペースとする。駐車場は極力河川敷空間に馴染む、芝生型駐車場的な整備を工夫する。</p> <p>○水上イベントを楽しむためのスロープを整備し、ボート等の江戸川へのアクセスの場とする。</p> <p><b>【今後の検討課題】</b></p> <p>※駐車台数は50台程度を想定しているが、イベント開催時における駐車場対策も含めた検討が必要である。</p> <p>※駅利用者等の無断駐車対策等、駐車場の運営について具体的な検討が必要である。</p>
<p>バーベキュー広場 ゾーン</p>	<p>○バーベキューを楽しめる広場とともに、イベント時にはメイン会場として利用する場となる。</p> <p>○食材の提供を行うためキッチンカーのスペースを駐車場と併設させる。</p> <p>○駐車場からのスロープと連動させ、イベント時には臨時浮棧橋を設置し、ボート、カヌー、屋形船等の水上レクリエーションが楽しめる場となる。</p> <p><b>【今後の検討課題】</b></p> <p>※緊急船着場エリアの一角でもあり、利用の在り方については国との事前調整が必要である。</p> <p>※バーベキューによる近隣住民への環境（臭い、煙等）の配慮が必要である。</p>

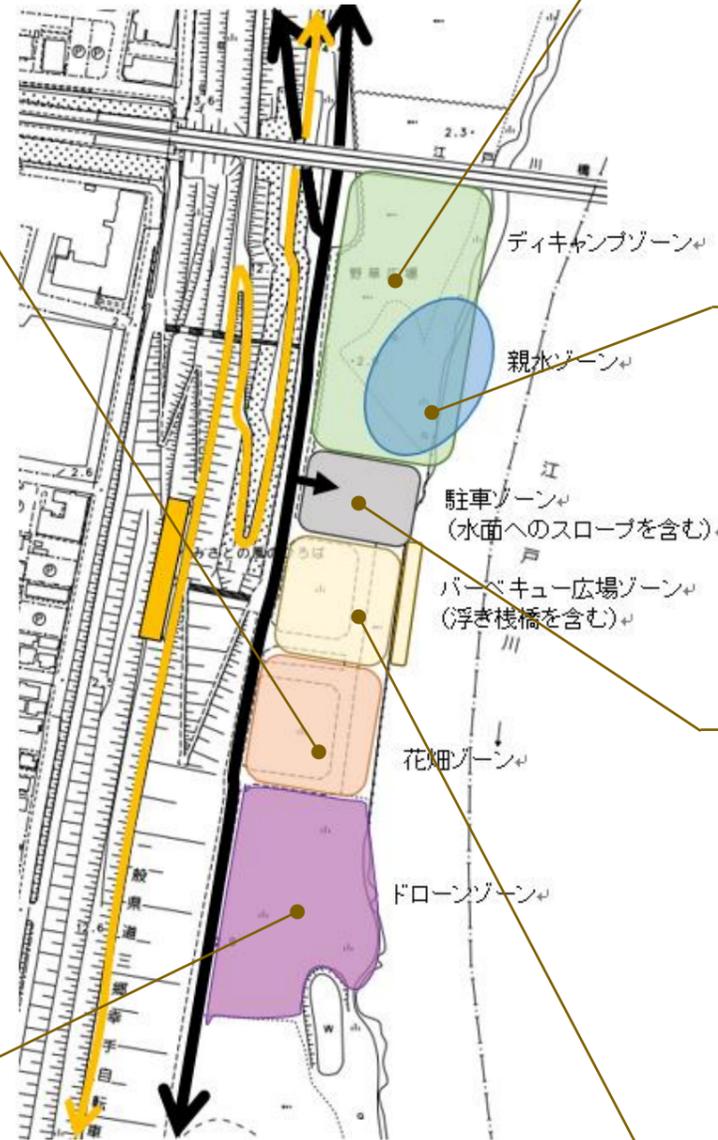
<p>花畑 ゾーン</p>	<p>○ワイルドフラワーにより、年間を通して花が咲いている空間で、拠点の存在をアピールする場となる。</p> <p>○堤防敷の法面も一体的に花による演出を図ることにより、景観として大きなインパクト効果を持つ。</p> <p>○花による迷路づくりを演出し子どもも楽しめる場とする。</p> <p><b>【今後の検討課題】</b></p> <p>※河川敷は年に何回か増水し河川敷一帯が水に浸かるので、それを踏まえた植栽対策が必要である。</p>
<p>ドローン ゾーン</p>	<p>○ドローンの飛行エリアを整備する。</p> <p>○飛行エリアは、ラインやカラーコーン等で飛行区域を明示し、ハード的な施設整備は不要である。</p> <p>○利用者は、ドローン初心者から上級者の他、業務用の試験飛行や飛行コンテストなどのイベント開催も可能となる。</p> <p><b>【今後の検討課題】</b></p> <p>※現在想定しているエリアは、鉄道からは十分な距離が保たれているが（一般には障がいとなるものから 30m は離すこととなっている）、市の未占用区域で自然環境の保全ゾーンとしての位置づけがなされているので、今後河川管理者との利用調整は必要となる。</p>
<p>その他 関連整備対象 (含：今後の検討 課題)</p>	<p><b>【みさとの風ひろば】</b></p> <p>○三郷市内の観光スポット、グルメスポットや自転車の修理等ができる案内の情報提供機能を整備・充実する。</p> <p><b>【JR三郷駅～拠点地区】</b></p> <p>○三郷駅に江戸川河川敷の案内機能を設ける。</p> <p>○駅から拠点地区までの道路のペーブメントづくりを進める。</p> <p>○市道 5078 号の横断に当たっては、横断箇所前後に車の運転者に対する安全走行に対する意識づけの対策をおこなう。（例えば道路のカラー化、ハンプの設置、安全標識 等）</p> <p>○中長期的には、三郷駅の乗降場を江戸川方面に延長し、イベント時などの河川敷への直接的な改札口を設ける。</p> <p><b>【商店街】</b></p> <p>○河川敷でバーベキューを楽しむ人への食材の提供やキッチンカーの配車等の役割を担う。</p> <p>○観光客やサイクリストに対する飲食やショッピング情報の提供や、ホテルと連携したサイクリストへのシャワールームの提供といった、受入体制の整備を推進する。</p>

< 拠点の整備イメージ >

<四季を通じて花がある花畑と迷路（法面まで導入すると一大景観となる）>



<三郷市の花・木・鳥を拠点に導入できれば市のPRともなる>



<のんびりと過ごすディキャンプ>



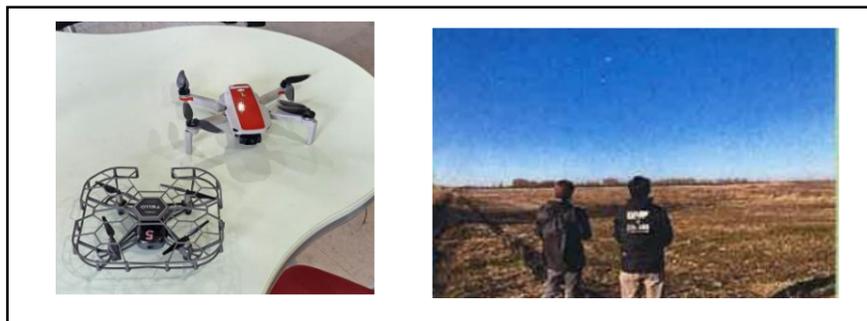
<じゃぶじゃぶ池や自然観察もできる親水ゾーン>



<河川敷に馴染んだ駐車スペースと江戸川へ降りるスロープ>



<河川敷の広大な広がりを活かしたドローンは三郷の風景を創り出す>



<バーベキュー広場はイベントの会場にもなり、浮き桟橋は水上レジャーの拠点となる>



